国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	テンプル大学
-----	--------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	99000 円	日によってまちまちだが、概ねフードトラックやスーパーで済ますことが多かった。
図書費・学用品費	0 円	事前に日本で準備したためかからず。
携帯・インターネット費	0 円	ソフトバンクであればアメリカであるためローミングをオンにするのみでよかった。
現地通学費	0 円	(研修先まで30分)定期が出る。
教養娯楽費	20000 円	自分の興味のあることが多ければ、多く持って行った方がよい。
被服費	0 円	準備しておけば問題なし。
雑費	45000 円	300ドルほどあればたいいのことはできたが、さらにあるとより安定する。
その他	円	例:お土産代など
合計	164000 円	クレカで払ったものもあれば、現金を使用したこともあるため合算。

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港での換金、現地での引き下ろし(手数料高め) その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
基本的にはクレジットカードで大丈夫だった。しかし、現金しか使えないところもあるため、現金も用意しておくとなおよい。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
ソフトバンクであればアメリカなら SIM を用意しなくても大丈夫だと思う。ローミングをオンにすれば問題なく使えた。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
飛行機の中が退屈になるのであれば、音楽のダウンロードや yuutube プレミアムでオフラインでも再生できるようにしておくとい。日本食が恋しくなってもいいように、少し持っていくとい。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
事前に調べて、その付近は通らないようにしたり、夜中少しでも歩くときは一人にならないようほかの留学生と一緒に歩いた。危ない人のそばは歩かない。盗難などはなし。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
日本と変わらず使えたため、問題はなかった。地下鉄では少し通信が悪い。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2人)
3) 共有部分	
☐ バス ☐ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

ユニットバスなのが少しネックだが、概ね問題ない。部屋の清掃が入らない時もあるのでごみは適度に調節すべし。部屋は、共用の部屋を使わせてもらえたが、そうではない時もあるため、同居人とは仲良い関係を築いておくことを望む。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

英語のレベルは非常にわかりやすく、またわからない時でもプログラムをサポートしてくださる先生が助けてくれた。また、日本と違ってアクティブな活動も多く能動的に英語の発言をすることが多かった。自分から話さなきゃいけないことも多かったので、自然と話す機会や使う単語は増えていった。

2)課外プログラムについて

興味がなかったら、絶対に行かないであろうなというところにも行けるので地検が広がりやすいと感じた。また、課題と密接に結びついたものが多いので、受動的に楽しむのではなく、自分から進んで参加することが求められたのも日本の生活ではなかったことなので目新しさを感じた。

3)現地での生活に関すること

同じプログラムの人が同じホテルにいたので、ホテル内でも多くコミュニケーションをとったことで、日常的に英語を使うことができた。年齢の関係からお酒を飲めなかったため、それを介する会合などに参加できなかったのは心残りであるため、出来れば飲める年齢で参加した方がより親密な関係が築けるのではないかと思った。しかし、飲めなくても十分に仲良くできるため、積極的に動ける人であれば大丈夫であろう。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

韓国や中国などの他の国からの人が多かったため、難しい英語をたくさん使おうとしなくても表情や単語のつながりなどで意味を推測してくれることが多かった。また、一緒にやるグループワークも多いので仲良くなりやすく、文化の違いなどを楽しむこともできた。違う言語を理解しようと努められたのもいい経験だった。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

ホテル内において、食事会やお菓子交流会などで仲を深めた。お互いの文化や言葉の違いを通じて積極的なコミュニケーションをとっていったことにより、普段の授業などでもあまり緊張せずに、関わり授業とそうでない時間の両方を通じて、精神的言語的な発展・発達を促進することにつながって、いい経験になった。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

電車の中で、大きな音を流している人がいる。様々な場所で喫煙をしている人がいる。フードトラックが至る所にあり、食の種類は豊富である。店員さんは基本的に優しく、つたない英語でも理解して最大限のサポートで助けてくれる。エレベーターの中で何気ない挨拶から会話につながることもある。同じ留学生でも、金の使い方に違いがある。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

最初は不安と期待の入り混じる気持ちでこのアメリカの地に立った。しかし、日々過ごしているとそれにも慣れてきて多くの人とコミュニケーションをとることが楽しくなってきた。このアクティブな気持ちや行動力を日本に戻っても発揮できるようにありたい。これから目指そうとしている後輩に思うことは、最初は戸惑うことも多くあるかもしれない。しかし、現地の先生方やほかの留学生、そして、同じく明治から一緒に行くであろう仲間たちと協力して、こちらの生活での困難を乗り越えていってほしい。また、ほかの留学生との交流は多くとった方が、自分のためになることが多い。文化言語の違いの理解や見聞を広める絶好の機会となるであろう。悲しくなったときや心細いときは、同じチームメンバーで助け合って解決できるとよいだろう。音楽を聴いたり、自分の友人に時差などを考える必要はあるが、電話をかけて声を聞くというのもよい解決方法であろう。ぜひ、臆さず留学して自分の知識や経験を広げて、人生や思いでの一ページとなるような大切なプログラムにしてほしい。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	テンプル大学 American Culture at Temple Program
-----	---

留学費用項目	かかった費用 (円換算)		備考 特記事項があれば記入してください。
食費	80,000	円	物価が高いため食費は多めを考えておくとう安心。
図書費・学用品費	0	円	ノートとペンをもらった。
携帯・インターネット費	5,250	円	esim の契約費
現地通学費	0	円	(研修先まで 20 分)市内の公共交通機関を利用できるカードをもらえる。
教養娯楽費	25,000	円	美術館や博物館の入館料など
被服費	0	円	
雑費	3,000	円	ニューヨークなどでの地下鉄、バス代
その他	25,000	円	例:お土産代など
合計	138,250	円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本にいるうちに外貨両替ができる場所で両替した。駅で両替したが、学割で少しレート換算を高めにしてもらえた。
その他用意したもの: ☐ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
アメリカでは日本よりもキャッシュレスが進んでいるため、基本的にどのお店でもクレジットカード決済ができます。そのため、クレジットカードと念のための現金を持っていれば支払いには困らないと思う。自分はその銀行を利用しているが、カードを使ってネットで何かを購入する際に電話番号に認証コードが送られてくることになっているが、自分が契約していた esim には電話番号がついていないものであったため、ネットを経由しての購入ができなかった。そのため、その銀行を利用している人は、電話番号がついている契約をするのがいいと思う。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
自分は esim を利用した。Trifa というアプリを利用して事前に日数分の利用額を払った。操作も簡単で、現地についてからすぐに利用できた。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ウェットティッシュや割りばしは現地になかったので持って行ってよかったと思う。また、スリッパは現地に置いていなかったの、持って行ってよかったと思う。現地にもお米を使った料理はあるが、パラパラしているものが多く、日本のお米が食べたくなったことが多かったの、パックのごはん等を持っていくと良かったと思った。

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
外務省の情報やインターネットのサイトから情報を得て、危険な場所には近づかないようにした。基本的に一人で出歩かないようにした。自分たちが滞在していた近辺は比較的治安がよく、盗難などの被害にあうことはなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
事前に esim を契約していたので携帯電話は問題なく使えた。ホテルや大学構内はインターネットが完備されているので接続や利用は問題なかった。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態

☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2人)
3)共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
滞在していたホテルはきれいで清掃も行き届いていた。キッチンがついていなかったの近くのスーパで食事を用意する必要がある。みんなが使える部屋があり、そこで違う国の留学生と交流することができるので、積極的に利用すると思う。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
自分一人で考えるタイプの授業ではなく、いくつかのグループに分かれて話し合うことが多かった。そのため、強制的に英語を使って話さざるを得ない状況が多く、早いうちから英語には慣れることができると思う。異国の人と、同じグループになることが多いので、その国の文化等を知ることができる機会が多かった。
2)課外プログラムについて
プログラム内でニューヨークやワシントン DC に行くことができる。授業で習ったものを実際に見ることができるのは、とても貴重な経験になった。あまり時間がないため、事前に調べて計画を練っておくと困らないと思う。また、改めてアメリカの歴史などを復習しておく、より理解が深まると思う。
3)現地での生活に関すること
ホテルで過ごすので生活面における不便な点はないと思う。フィラデルフィアの都市部は治安が良いので、盗難にあうこともあまりないと思う。ただ、日本よりは治安が悪いと感じたので、注意は必要だと思う。人混みの中に行く際は特に持ち物が盗まれないように服の中に隠しておくなどの工夫が必要。また、アメリカは物価が高いので、お金は多めに用意しておくよと思う。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
自分たちが参加した際は、日本人のほかに韓国と台湾からの留学生がいた。授業内だけでなく、同じホテルに滞在するため、交流できる時間は多いと思う。ただし、ほかの留学生も英語を話すことに抵抗があるため、自分から話すように意識していないとあまり話すことなく終わってしまう可能性があるため積極的な姿勢が必要だと思う。文法などの正確性を気にしすぎていると話すことに抵抗が生まれやすいので、あまり気にせずにコミュニケーションをとろうとする姿勢を持って過ごすのがコツだと思う。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
大学内でのイベントに参加する機会があったので、その際にテンプル大学でスペイン語を教えている先生と少し話す機会があった。また、大学内に卓球やビリヤード、ゲームなどができる場所があり、そこで現地の人と少し交流できた。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
韓国の留学生と話した際に韓国の英語学習について話したが、韓国の学生は小学校に入る前から英語学習を始める人が多いということを聞いた。日本の同世代は、ほとんどが中学校から英語の授業を受け始めるので英語学習に対する意識の違いを知った。韓国では最近に法律の改正があり、日本と同じ 19 歳から大学生になるが、以前は 20 歳から大学生になるということを知った。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

自分たちは日程の都合上、ほかの留学生よりも少し遅れて授業に参加しました。そのため、授業を受ける前は、授業についていけないか不安でした。しかし、先生や周りの留学生が自分の拙い英語に対しても真剣に聞こうとする姿勢を見せてくれたため、頑張ることができました。最初は文法を正確にして話さないといけないという考えに縛られていましたが、聞いている人は多少の間違いいついても気にしていないことに気づいてからは、話すことにあまり抵抗も感じなくなり、英語話すことが楽しく感じるようになりました。最初はどうしても英語を話すことに抵抗を感じてしまうと思いますが、考え方を変えることで乗り越えることができると思います。日本食が恋しくなるので、パックご飯などを持っていくといいと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	2024 年度テンブル大学春季短期留学
-----	---------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	125000 円	朝食と昼食合わせて一日平均20ドルくらい 夜は普通のレストランで外食したら最低でも30ドルくらいはする(チップ込みで)お酒はカクテルが 15ドルくらい、ビールは 8ドルくらい
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	0 円	現地では、ホテルと学校以外は写真撮る以外あまりスマホを使わなかった。
現地通学費	0 円	(研修先まで20分)学校でもらえるセブタという乗り放題券で、フリー近辺の電車とバスはタダで乗れる。
教養娯楽費	80000 円	高速バスを使うと往復60ドルくらいでニューヨーク行ったりボルチモア行ったりできる。博物館とかは平均 15ドルくらいかな。
被服費	50000 円	お土産に買ったお洋服代
雑費	0 円	
その他	0 円	例:
合計	255000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 両替所 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードがほとんど全ての買い物で使える。地下鉄もクレカがざせば払える。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
フリーWiFi
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日本食、特にレンチンで食べれるご飯とふりかけをたくさん用意すれば朝は安く済む。あとは蜂蜜などを持っていけば、毎日舐めるだけで体調管理ができる(病気せずに済んだ)スポーツウェアを持って行っておくと、大学のスポーツ施設やホテルのジムで便利。あとは靴は、部屋用のサンダルと日常用のスニーカーがあるといい。なかなか洗濯がめんどくさいので下着はたくさんあったほうがいい。

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
特に危険地域情報とかは収集していないが、野性の勘で危ないところはわかる。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
ホテルや学校のフリーWifi で事足りる。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態

☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 1人)
3)共有部分	
☐ バス ☐ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
ホテルにはレンジはあるが、キッチンがないから料理ができない(ホテルをとるならキッチンついてるところにするだけでだいぶ経費が削減できるので次からは工夫してもらおうと助かる)ホテルは綺麗で快適。ホテルのレストランも一人100ドルくらいしたけど美味しかった。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。	
良かった点は先生が親切で優しい 悪かった点は、前半は生徒の数が多いから平凡な授業で英語を喋らなくてもなんとなくやれちゃう感じあつてつまらなかった。	
2)課外プログラムについて	
トリップなどで行く場所を吟味しよう。	
3)現地での生活に関すること	
大都市で賑わっている場所に滞在できるのがいい。	

交流等について	
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。	
現地学生が、フレンドリーと一緒に学校の施設でテニスしたり卓球したりご飯を食べて仲良くさせてもらった。プログラムに参加している、他の国の生徒ともたくさん飲み食いして仲良くなった。	
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。	
ワイリー近郊の別の大学に留学している中高の友達を通じて、友達の友達と夕食やテニスを通してたくさん交流した。	

異文化体験について	
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。	
地下鉄がとにかく大麻くさい。 フードトラックは様々な国の食べ物があって特にハラルフードは安くて美味しい。 日本の食べ物はテイクオリティーの物しかない。 物乞いがたくさんいる。格差がすごい。	

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

<p>学校の授業はたいしたことないからこそ、自分でとにかく学ぼうとする姿勢が大切。海外にいれる時間は限られているので、とにかく1日1日新しいことをする姿勢が大切。行ったことがないところに行き、新しい食べ物を食べる。生活は慣れるから大丈夫。とにかく人と話し、そこから学ぶ姿勢が大切。あと、もし現地に知人がいるのなら必ず連絡して会うこと。必ず大きな発見がある。特に、友達の家とかに泊まれるチャンスがあるなら絶対に行くべき。あとは一人の時間を作るのも大事。町中を探検しよう。あと、日記をつけてなるべくやったことや思ったことの記録をつけると、留学の意味づけや思考の整理ができる。お金に余裕があるならケチるな。英語はちゃんと単語のインプットをすべき。いだけじゃ上達しない。</p>

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	2024 年春季テンプル大学研修
-----	------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	100,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3,000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 30 分)
教養娯楽費	40,000 円	美術館等の文化施設への支払いと、物品の購入・交通費を含める
被服費	0 円	冬季のため、防寒対策は必須である。
雑費	0 円	
その他	0 円	例:
合計	約 150,000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 用意しなかった。 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
eSIM Trifa を用いた。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
渡航先の文化や歴史、とりわけ都市に関する知見を持っているとアメリカは特に面白いのでは。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
CNN ニュースより、逐一情報を確認していた。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
おおむね問題なし。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分	
☐ バス ☐ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

基本的な語学力は必要だが、一番重要な要素はコミュニケーションをとる姿勢、積極性である。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

授業は主にアメリカ文化研究と広告作成の 2 科目で構成されている。アメリカ文化の授業では、現代アメリカ社会の諸問題について英語でディスカッションを行い、広告作成の授業では実践的なマーケティング手法を学んだ。

良かった点:

- 密な指導
- 実践的なグループワークの多さ
- 教授陣による丁寧なフィードバック

課題点:

- 予習・復習の負担が大きい
- 専門用語の理解に時間を要する
- グループワークでの意見調整の難しさ

2)課外プログラムについて

文化にフォーカスを当てているプログラムのため、美術館を訪れる機会が多い。そのため、一定程度の教養や知見を持っていることが望ましい。

3)現地での生活に関すること

寮は 2 人 1 室で、以下の設備が整っている:

- 24 時間利用可能な共用スペース
- 無料 Wi-Fi 環境
- ランドリー設備

生活費の目安:

- 食費:週 150ドル程度

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

なし

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

プログラム外:

- 図書館での交流プログラム
- 学内における偶発的な交流

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

プログラム外での街歩きを通じて、フィラデルフィアという都市の特異性を強く実感した。特に印象的だったのは、歴史的建造物と現代建築が互いを否定することなく共存している街並みである。独立記念館周辺の 18 世紀の建造物群が大切に保存される一方で、その周囲には近代的なオフィスビルが立ち並び、さらにその間を縫うように、アーティストたちのアトリエや小規模なギャラリーが点在している。

特筆すべきは、これらの異なる時代の建築物や施設が、単なる観光資源としてではなく、現代の市民生活と密接に結びついている点である。

年齢や人種を問わず、自分の個性や意見を躊躇なく表現する姿勢が日常的に見られた。例えば、路上でのストリートパフォーマンスに対して、通行人が積極的に声援を送ったり、即興で参加したりする光景は珍しくない。また、カフェでは見知らぬ人同士が自然に会話を交わし、そこから新しいコミュニティが生まれていく様子も目にした。

この経験を通じて、文化とは単なる歴史的遺産や伝統の保存ではなく、人々の日常的な営みの中で常に更新され、発展していくものだという理解に至った。また、個人の価値観や生き方の違いを受容する社会の重要性も強く認識した。日本では同調性が重視される場面も多いが、フィラデルフィアでの体験は、個性の発露と社会の調和が必ずしも相反するものではないことを教えてくれた。

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この研修は、アカデミックな学びと実践的なスキル習得の両面で非常に有意義であった。特に、広告作成の授業では、理論と実践を組み合わせた学習方法が効果的であり、アメリカの最新マーケティング手法や消費者心理分析を実地で学ぶことができた。当初は専門用語の理解や、ディスカッションに苦勞したが、教授陣の丁寧なサポートと、クラスメイトとの放課後の自主学習を通じて、徐々にその壁を乗り越えることができた。特に印象的だったのは、失敗を恐れず積極的に発言することの重要性を学んだことである。完璧な英語を求めるのではなく、自分の考えを伝えようとする姿勢が重要だと気づいた。

この経験は、グローバルなビジネス環境での働き方を具体的にイメージする機会となった。異なる文化背景を持つ人々との協働、期限のある課題への取り組み方、プレゼンテーションスキルの向上など、将来のキャリアに直結する学びが多く得られた。後輩たちへのアドバイスとしては、事前準備として、基本的なビジネス英語と専門用語の学習、そして何より異文化コミュニケーションへの積極的な姿勢を身につけることを推奨する。言語の壁は確かに存在するが、それを理由に萎縮するのではなく、むしろ成長の機会として捉えることが重要である。この研修で得られる経験は、グローバル人材として成長するための確かな一歩となるはずである。

今後は、この留学で培った国際感覚とビジネススキルを活かし、学内の国際交流活動にも積極的に参加していきたい。また、より専門的な知識を得るため、長期留学にも挑戦することを検討している。この1ヶ月の経験は、私の将来の可能性を大きく広げてくれた貴重な機会となった。